

令和6年5月15日(水) No.493



生徒一人ひとりを大切に、知・徳・体の調和のとれた生徒を育成し、絆を深める里中学校

# 里中だより

川口市立里中学校  
川口市里621番地  
048-282-5708  
さわやか相談室  
048-284-1010  
<http://www.sato-chu.com/>

## 失敗体験を通して

校長 小野 毅

始業式、入学式と今年度も全校生徒の前向きな姿勢で順調にスタートしました。各クラスでは素晴らしい笑顔がいっぱい見られています。本校が今のように落ち着いた雰囲気の中、安心して学習、生徒会活動、部活動、学校行事に打ち込めるのは、多くの先生方の努力の結果によるものと感じています。

本校の発展のためにご尽力され、この3月に本校を去られました先生方を5月2日にお迎えし、離任式を行いました。先生方のお気持ちをしっかりと受け止め、今以上に本校を前進させていく決意をしたところです。

さて、新年度のスタートにあたり、勇気づけられる話しを目にすることがありましたので、紹介します。

### 【ペダルを踏む】

自転車は人力と機械の調和あつての乗り物である。それゆえ、乗るまでには修練が必要。何度横倒しになっても、ペダルを踏み続けた人だけが走る体感を得る。その喜びは誰でも記憶に残っていよう。

そうした試練のあとの乗り心地もまた、平地を走る爽快さから、坂道を上る苦しさまで、人生そのものだ。

細いタイヤのたった2点で地面に接するために、ゆっくり走れば不安定に、速く走れば安定する。その感覚を認知すると、もはやわざと倒れようと思っても倒れられない。かくして私たちは行きたい道を、思うまま向かっていける。

あらためて私たちは、自転車に乗ることで、人生最初の学びの体験と、必ず一人で走って行ける自信をもらったとは言えないだろうか。

新年度を迎え、新たなスタートを切った。目の前の坂がどれだけ急かは知らないが、自分が行くべき道ならば、よろけることなく進みたい。そのために、体重を乗せて一にも二にも、しっかりペダルを踏み続けよう。そのひたむきさが自分を確かな成長に導いてくれると信じつつ。

(参考資料 PHP910号)

失敗したからこそ学べる体験を通して、成功した時の喜びや達成感を味わえるよう、子どもたちには様々なことに挑戦してほしいと思います。

そして、この5月、6月に行われる学校行事や3年生にとって最後となる運動部による学校総合体育大会に向けて、しっかりと目標をもち、その目標の実現のために挑戦を続けてほしいと感じます。